

湯沢CS通信

令和8年9月8日 第97号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当



8月4日の「ゆざわコミスクみらいトーク」には、県教育庁南教育事務所社会教育チームの皆様にもお越しいただきました。ありがとうございました。時田先生からの指導助言を紹介します。

「ゆざわコミスクみらいトーク」を振り返って

社会教育主事 時田 敬様

今年度、「ゆざわコミスクみらいトーク」と名称を刷新し、湯沢の子どもたちの未来を語り合う熱気あふれる研修会が開催されました。

研修Ⅰは、参加者が自校の取組を持ち寄り、紹介し合うスタイルへと転換されました。地域や規模は違っても、「同じ思いや似た課題意識をもって子どもたちに向き合っている」という市内全域の連帯感と新たな気付きが生まれる、極めて有意義な情報共有の場となりました。

研修Ⅱでは、CSディレクターのファシリテーションのもと、「湯沢市の子どもたちに伝えたい ひと・もの・こと」をテーマに深い熟議が展開されました。各グループから湯沢が誇る伝統文化、豊かな自然、温かい人材など「守り伝えるべき地域の宝」が次々と挙げられたことは、今後の学校運営協議会、地域学校協議会活動で大切にすべき「湯沢市の誇り」を再確認する素晴らしい時間となりました。さらに特筆すべきは、語り合いつつ終わらせず、「自分の立場(教職員・地域住民・学校運営協議会委員など)で何ができるか」という具体的な行動・実践へと落とし込まれていた点です。当事者意識をもった実効性の高い熟議の姿がそこにありました。

湯沢市教育委員会学校教育課の皆様は、温かい企画、運営、進行のもと、立場を越えた参加者が「湯沢の子どもたちの未来」という共通のゴールに向かって心を一つにされました。今回の研修会で構築された強固な協働基盤と「湯沢の誇り」を、ぜひ皆様の学校・地域へと持ち帰り、今後の学校運営協議会、地域学校協議会活動のさらなる活性化へと繋げていただくことを強く期待しております。

熟議について

本市では、熟議の形式や内容に関して特にこだわらず、よりよい教育環境づくりのための協議を重ねてほしいと考えています。そこで今回の研修会でも熟議を実施させていただきました。テーマは、事前に学校運営協議会委員の皆様アンケートを実施し、決めさせていただきました。

ラウンド1と2

「子どもたちに伝えたい『ひと・もの・こと』」
ラウンド3

「自分ができること」

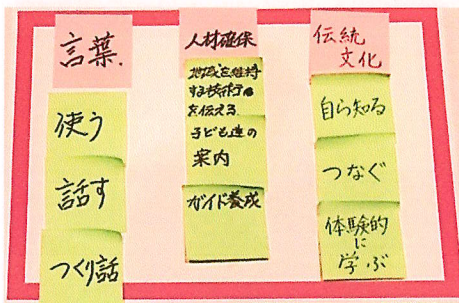
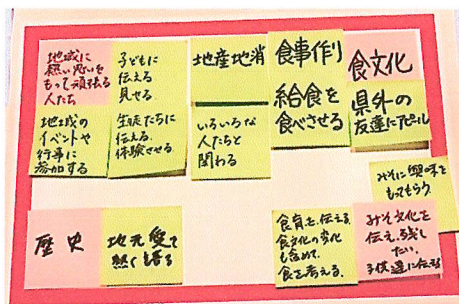
ラウンド3の記録のみ、紹介します。

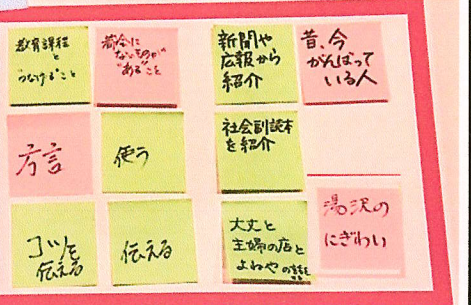
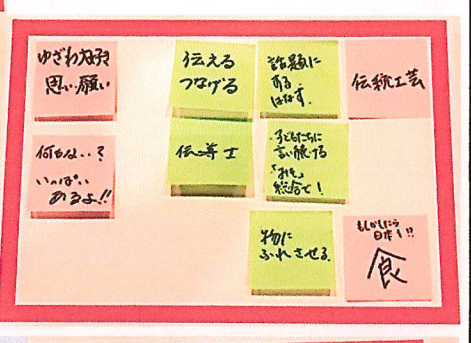
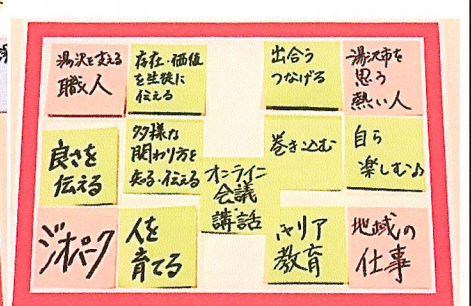
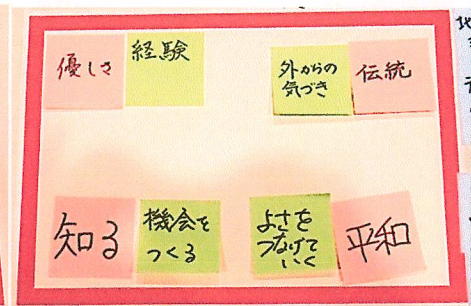
ピンクの付箋

「子どもたちに伝えたい」

緑の付箋

「自分ができること」





参加者の皆様には、事後アンケートにもご協力いただきまして、ありがとうございました。

